

多様な人財の活躍をサポートし、イノベーションを創出

異業種の経験がある社員、他の銀行での経験を経て入社した社員がそれぞれの視点から、入社して感じたことや今後の目標について意見交換しました。



商工中金に入社したきっかけ

齊木 現在の主な業務はコーポレート・ブランディングで、ブランドサイトの構築やテレビCMの出稿、営業支援としてのメールマーケティングなども担当しています。私は新卒でITマーケティング会社に入社し、非対面営業の部署でブランディングや広告運用などを担当しました。商工中金に入社したのは2024年10月です。前職では中小企業の経営者とお話する機会が多く、経営者が抱えている様々な課題をブランディングや広告の面からサポートしていましたが、広告だけでは本質的な課題解決にはつながらないというジレンマがありました。そこで、より深く広く中小企業をサポートできる仕事をしたいと考え転職活動をしたところ、商工中金と縁がありました。金融業界の知識がないことに不安はありましたが、中小企業専門ということで、自分のやりたいこととマッチしていると思い、入社を決めました。面接の時にとても丁寧に対応していただいたことも決め手となりました。



齊木 彩香
マーケティング部
シニアアシエイト
2024年入社
前職：情報サービス業

渡邊 私は2023年1月に入社し、営業店で融資渉外業務を経験したのち、2025年4月からストラクチャードファイナンスのプロジェクト管理やリスクマネジメントを担当しています。前職は地域金融機関でストラクチャードファイナンスを担当していましたが、地元以外の案件も多く、地方銀行以外にも活躍できる場があるのではないかと思います。転職しました。株主＝お客さまという金融機関は商工中金の他にありませんから、面白そうだったのがきっかけです。私も、採用面接時の対応がとてもよかったことが印象に残っています。社員の皆さんの人柄が良く、雰囲気が良い点が好印象でした。

若林 現在は、東京の深川支店で法人営業を担当しています。前職の地方銀行では、担当していたお客さまが本業以外の影響で一時的に業績が悪化したことがありました。本業は好調だったため支援したいと思って社内稟議をかけたところ、通らなかった苦い経験がありました。私は業績が厳しい時こそお客さまを支援したいという思いで銀行の仕事を選んだため、その時に違和感を覚えたのが転職のきっかけとなりました。事業性評価をしっかりとやって融資をする商工中金に好感を抱いて選考を受けてみました。転職活動になかなか時間が取れない中でも採用面接のタイミングに配慮していただいて、雰囲気の良い会社なんだろうなと感じたことを覚えています。

商工中金に入社して感じた良い点・悪い点

若林 若手でも法人のお客さまを担当させてもらえるのがいいですね。求められることは多いですが、その分良い経験を積むことができます。また、商工中金は株主と預金者と融資先が中小企業ですべて一致していることで、一歩踏み込



渡邊 蓉子
ファイナンシャル・
デザイン部 オフィサー
2023年入社
前職：銀行業

んで支援できるのだと感じています。その一方で、システムインフラは不十分だと感じることもあります。収益管理やデータの利活用については、仕組みを整えれば改善できるのではないかと思います。

渡邊 全国展開していることや、セーフティネット機能などのアピールポイントがあると思います。一方で、「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」というPURPOSEからはポジティブな印象を受けましたが、実際は変化に対して抵抗がある雰囲気を感じます。民営化をきっかけに変わろうとしています、まだ物足りないように思います。他の民間の金融機関とは違う商工中金の特色を出していったほうがいいですね。

齊木 自分のやりたいことが素早く実現しやすい点は非常に良いと感じています。規模の大きい企業は申請前の社内調整や手続きに時間がかかりますが、商工中金は意思決定が早いと感じます。ただ、同業他社の事例を見て慎重に判断するところもあり、実行までに時間を要してしまうこともあります。一方で、90年近く独立した存在として、しかも中小企業だけを専門として取り組み続けている企業は他にないですね。渡邊さんがおっしゃっていたように、独自性をもっと出した方が良いと思います。

これまでのキャリアを現在の業務にどう活かしているか

若林 私は前職の経験から、融資一辺倒ではなく、お客さまとしっかりと課題を共有し適切なソリューションを提供することを心掛けています。時間をかけてご提案することで、他行との差別化が図れるのではないかと思います。成果を上げていくためには、業務をできるだけ効率化し、お客さまへの提案に向けた検討時間を十分に確保することが重要です。まだまだ新しい風を吹き込んでいる途中なので、これからも組織の意識を変えていくために、頑張っていきます。

渡邊 私は前職ではサービス提供の対価としての金利にとってもこだわってきました。商工中金には、以前の政府系金融機関としての公共性重視の文化が影響し、営業現場

での努力と、それに見合う対価を意識する姿勢がまだ十分ではないように感じています。当金庫の持続可能な経営のために、前職の法人営業の経験を活かしていきたいと思っています。

齊木 入社後すぐにブランディングの企画が始まったため、広告代理店の選択や、商工中金の認知度の可視化といった業務において前職の知見を活かすことができました。最近入社したキャリア採用のデザイナーと共に、例えば各部署でそれぞれ制作していたツールのデザインなどを社内ですべて統一感をもって制作できるように、ブランディングも意識したルールづくりに取り組んでいます。

今後の目標

齊木 今まで携わってきたマーケティング業務に、今後はより専門的に取り組んでいきたいと思っています。唯一無二の商工中金の独自性をもっと多くの人にしっかり知ってもらいたい。テレビCMなどの媒体をもっと有効に活用して認知度を上げ、取引のないお客さまにも商工中金を知ってもらいたいです。

渡邊 私が所属しているファイナンシャル・デザイン部は新設部署のため、まだ過渡期にあります。部署のメンバーは優秀な方が多く、ノウハウもそれぞれにありますが、ストラクチャードファイナンスは新しいものがどんどん出てくる領域で、そこに対応するには専門人財や新たな知見が求められます。前職の経験を活かして、営業担当者が積極的に高度金融スキームにチャレンジできるようにサポートしていきたいと考えています。

若林 商工中金の良さを知ってもらうことは大切ですね。プロパー社員は、他の金融機関と比較する機会がないためか、経済環境の悪化など有事の際にも事業性を評価して融資できる商工中金の強みを理解していないのではないかと感じることがあります。将来は支店長になって、商工中金が中小企業のお客さまに必要な金融機関であることを広くお伝えしていけるよう、頑張っていきたいと思っています。



若林 賢太郎
深川支店
マネージャー
2020年入社
前職：銀行業